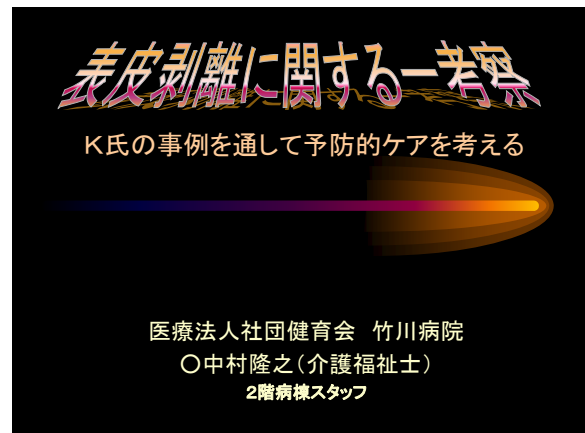


表皮剥離に関する一考察 ～K氏の事例を通して予防的ケアを考える～

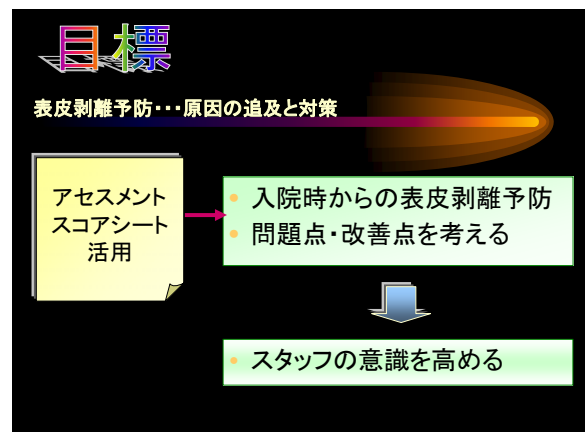
医療法人社団健育会 竹川病院 中村隆之

安全管理委員会に報告されるアクシデントレポートの中で、頻繁に生じる事例に「表皮剥離」があります。発生頻度の高い患者の事例から、原因とケアの問題点を明確にすることにより「予防的なケア」について検討することができたので報告します。



【目標】

- ① 表皮剥離アセスメントスコアシートによる入院時からの表皮剥離予防
- ② 表皮剥離アセスメントシートを活用しながら問題点・改善点について取り組み、それによるスタッフの意識を高める事



【患者紹介】

K氏 78歳 男性
診断名 脳梗塞
現在の障害 発動性なし 全身に拘縮著明
ADL 全介助

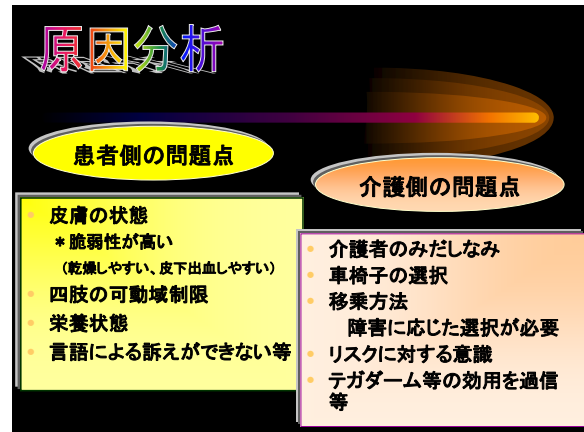
【原因分析】

患者側の問題点として

- * 皮膚の状態・・老化による脆弱性の高まった状態
(乾燥しやすい・皮下出血しやすい)
- * 四肢の可動域制限
- * 栄養状態
- * 言語による訴えができない事

介護者側の問題点

- * 介護者のみだしなみ
- * 適当でない車椅子の選択
- * 移乗方法(障害に応じた選択が必要)
- * リスクに関する意識が低い
- * テガダーム等の効用を過信していた



【なぜ？表皮剥離をおこすのか？】

例えば移動の際、拘縮のある部位を持ち、皮膚を強く圧迫すると皮下出血を起こしやすくなります。皮下出血は表皮剥離を引き起こしやすくなります。以上のような問題点を整理し、K氏の表皮剥離を予防するため次の様な対策を考えて実践しました。



【対策】

まず、全身チェック表を作成し、ケアの前後に、両上肢→両下肢→体全体の順に発赤・皮下出血・表皮剥離の有無を確認する。確認後、日時・部位を全身チェック表に記載し、アクシデントレポートおよび看護記録に記載しチェックシートに記載する。



【皮膚の観察】

入浴時は病室の温度と湿度、皮膚の保湿度測定を行う。担当者は腕時計・胸ポケットなどの身だしなみを確認する。

以上、介護者自身の表皮剥離に対するリスクの意識を高めることを目指しました。



【対策】

四肢圧迫に対しては、皮膚を保護するため、レッグウォーマーを両上下肢に装着しました。また、ゴムが緩めの靴下を使用し、寝衣はネルやタオル地などのよく伸びる柔らかい素材のものを用意しました。

車椅子は、圧迫や摩擦を避けるため、幅が広くゆったりと座れる物を使用し、身長に合わせた車椅子を選び、移動の前には上肢・下肢の位置を確認するようにしました。

アームレストには、タオルを巻き、直接皮膚がぶつかったり擦れないようにしました。

入浴時には皮膚の露出が多くなるので、拘縮部位が圧迫されないように、仰臥位のまま移動できるストレッチャーを使用しています。



部分的な圧迫の少ない移動を心掛け、バスタオルを使用しないでトランスする時は、上肢を支える介助者は手だけを使うのではなく、介助者2名が横に並び、手背から肘まで背部に深く差し込み介助者の胸を患者の体に密着させました。その結果、部分的な圧をかけずに移乗できるようになりました。



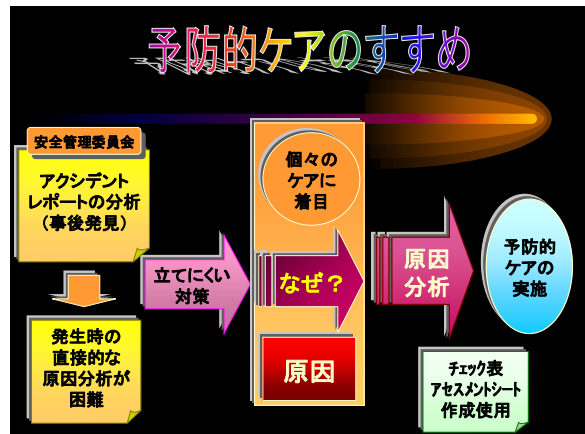
【移乗の工夫】

以前は移乗の際、上肢と下肢に分かれて、二人介助を行っていました。すると上肢に拘縮のある前腕や手背などに強い力が加わり、皮下出血ができ、わずかな摩擦や圧で表皮剥離となったと思われます。そこで、大きめのバスタオルを使用し体全体を包み込むようにしてトランスを行うことで、部分的な圧をかけることなく、体の表面を保護しながら移動することができました。



【予防的ケアのすすめ】

アクシデントレポートからでは、発生時の直接的な原因分析が困難でしたが、個々のケアに着目し、現在行われているケアそのものに疑問を持ったことで直接的な原因を明らかにすることができました。そして、原因を理解することで、「必要なケア」を明確にし、「予防的ケア」に結びつけることができました。



【アセスメントシート活用術】

これは、K氏の症例から考えられた表皮剥離アセスメントシートです。これを全患者に使用することで、入院の早い段階から対応し、リスクを把握してケアプランを実践すること、ケアのあり方に疑問をもち的確なケアプランの立案が出来た事等、スタッフの意識の向上に効果があったと考えます。

The table provides a checklist for skin peeling assessment and implementation of preventive care. A callout box says '問題点を明らかにする。表皮剥離予防基本プラン立案' (Clarify the problem points. Create a basic plan for skin peeling prevention). Another callout box says '予防的ケアの実施' (Implementation of preventive care).

車椅子使用	<input type="checkbox"/> 体格に合った車椅子の選択に注意する
移動時介助	<input type="checkbox"/> 体格に合った車椅子の選択に注意する
<input type="checkbox"/> 全介助	<input type="checkbox"/> アームレストにタオルを巻く
<input type="checkbox"/> 部分介助	<input type="checkbox"/> フットレストにタオルを巻く
褥瘡がある	<input type="checkbox"/> 弾縮性のある褥瘡を使用する
上肢の拘縮がある	<input type="checkbox"/> 弾縮性のある履衣を使用する
	<input type="checkbox"/> レッグウォーマーによる上肢の保護
	<input type="checkbox"/> バスタオルを使用してトランスする
下肢の拘縮がある	<input type="checkbox"/> 弾縮性のある履衣を使用する
	<input type="checkbox"/> レッグウォーマーによる下肢の保護
	<input type="checkbox"/> バスタオルを使用してトランスする
コミュニケーション困難	<input type="checkbox"/> 声掛けを十分に行う。全身を注意して観察
排泄介助 <input type="checkbox"/> 全介助	<input type="checkbox"/> ケア時に過度の力がからないように注意する
<input type="checkbox"/> 部分介助	
入浴介助 <input type="checkbox"/> 全介助	<input type="checkbox"/> ケア時に過度の力がからないように注意する
<input type="checkbox"/> 部分介助	
体位交換が出来ない	<input type="checkbox"/> ケア時に過度の力がからないように注意する
高齢者である	<input type="checkbox"/> 皮膚の乾燥や変化に注意

【アセスメントシート改善】

このシートを全患者に使用した結果、項目に当てはまらない事例が出てきました。

ADLは患者さんの状態によって様々です。それに伴い介護の方法もおおのずと違ってきます。

アセスメントシート改善	
車椅子使用	<input type="checkbox"/> 体格に合った車椅子の選択に注意する <input checked="" type="checkbox"/> ストレッチャーによる移動(車椅子では困難な場合) <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは違う車椅子使用一表反側発生時のリスクのある部位を再確認
移動時介助	<input type="checkbox"/> 体格に合った車椅子の選択に注意する <input type="checkbox"/> フームレスに足がぶく <input type="checkbox"/> フームレスに足がぶく
口部分介助	<input type="checkbox"/> 口部分介助 <input type="checkbox"/> 口部分介助
褥瘡がある	<input type="checkbox"/> 褥瘡がある <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子乗車時には褥瘡の手足などの位置を確認 <input checked="" type="checkbox"/> カマメに褥瘡側の手足の位置を確認する
麻痺がある	<input type="checkbox"/> 麻痺がある <input type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する <input checked="" type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する
上肢の拘縮がある	<input type="checkbox"/> 上肢の拘縮がある <input type="checkbox"/> レッグウォーマーに <input type="checkbox"/> バスタオルを使用し <input checked="" type="checkbox"/> 拘縮部位へ過度の力が入らないように注意する <input checked="" type="checkbox"/> レッグウォーマーによる上肢の保護 <input type="checkbox"/> バスタオルを使用してトランスする
下肢の拘縮がある	<input type="checkbox"/> 下肢の拘縮がある <input type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する <input checked="" type="checkbox"/> 拘縮部位へ過度の力が入らないように注意する <input checked="" type="checkbox"/> レッグウォーマーによる下肢の保護 <input type="checkbox"/> バスタオルを使用してトランスする
コミュニケーション困難	<input type="checkbox"/> コミュニケーション困難 <input type="checkbox"/> 声掛けを十分に <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション困難 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション困難
排泄介助	<input type="checkbox"/> 排泄介助 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力
入浴介助	<input type="checkbox"/> 入浴介助 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力
体位交換が出来ない	<input type="checkbox"/> 体位交換が出来ない <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input checked="" type="checkbox"/> ストレッチャーなどで体が直接触れる器具等タオルで巻いて保護する
流動食である	<input type="checkbox"/> 流動食である <input type="checkbox"/> 皮膚の乾燥や変化 <input checked="" type="checkbox"/> 体を寝具で覆らないように注意 <input type="checkbox"/> 皮膚の乾燥や変化に注意

そこで、「アセスメントシート」を使用する段階で問題点を検討し、項目を追加しました。車椅子使用者の状態、麻痺の状態、上下肢の拘縮、移乗・入浴介助の方法等患者さんの状態にあわせてその都度対策を検討し、より良い物を目指しています。

アセスメントシート改善	
車椅子使用	<input type="checkbox"/> 体格に合った車椅子の選択に注意する <input checked="" type="checkbox"/> ストレッチャーによる移動(車椅子では困難な場合) <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは違う車椅子使用一表反側発生時のリスクのある部位を再確認
移動時介助	<input type="checkbox"/> 体格に合った車椅子の選択に注意する <input type="checkbox"/> フームレスに足がぶく <input type="checkbox"/> フームレスに足がぶく <input type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子乗車時には褥瘡の手足などの位置を確認 <input checked="" type="checkbox"/> カマメに褥瘡側の手足の位置を確認する
口部分介助	<input type="checkbox"/> 口部分介助 <input type="checkbox"/> 口部分介助
褥瘡がある	<input type="checkbox"/> 褥瘡がある <input type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する <input checked="" type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する
麻痺がある時	<input type="checkbox"/> 麻痺がある時 <input checked="" type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する <input checked="" type="checkbox"/> 拘縮部位へ過度の力が入らないように注意する <input checked="" type="checkbox"/> レッグウォーマーによる上肢の保護 <input type="checkbox"/> バスタオルを使用してトランスする
拘縮がある時	<input type="checkbox"/> 拘縮がある時 <input checked="" type="checkbox"/> 伸縮性のある服を使用する <input checked="" type="checkbox"/> 拘縮部位へ過度の力が入らないように注意する <input checked="" type="checkbox"/> レッグウォーマーによる下肢の保護 <input type="checkbox"/> バスタオルを使用してトランスする
排泄介助・入浴介助	<input type="checkbox"/> 排泄介助・入浴介助 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力
介護の注意、移動時の注意	<input type="checkbox"/> 介護の注意、移動時の注意 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input checked="" type="checkbox"/> ストレッチャーなどで体が直接触れる器具等タオルで巻いて保護する
体位交換が出来ない時	<input type="checkbox"/> 体位交換が出来ない時 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input checked="" type="checkbox"/> ストレッチャーなどで体が直接触れる器具等タオルで巻いて保護する
体を寝具で覆らないように注意	<input type="checkbox"/> 体を寝具で覆らないように注意 <input type="checkbox"/> ケア時に過度の力 <input checked="" type="checkbox"/> ストレッチャーなどで体が直接触れる器具等タオルで巻いて保護する
流動食である	<input type="checkbox"/> 流動食である <input type="checkbox"/> 皮膚の乾燥や変化 <input checked="" type="checkbox"/> 体を寝具で覆らないように注意 <input type="checkbox"/> 皮膚の乾燥や変化に注意

【まとめ】

今回の事例では、なぜを明らかにすることで、リスクそのものに対する意識付けにもなり、私たちが提供するケアの質も、結果として向上したと考えます。事故は当然起きる物ではなく、ケアによって予防できるということを感じました。この結果をふまえ、私たちは、リスクのある全ての患者に「表皮剥離の予防的ケアを実践」するために、今後も「表皮剥離アセスメントシート」を活用し、その問題点と改善に取り組むことで個々にあったケアプランを立案し「予防的ケア」を実践していきたいと考えます。

まとめ

- 「なぜ？」を明らかにする事でリスクそのものに対する意識付け。
- スタッフの意識向上
- 事故は、ケアによって予防出来る
- 「なぜ？」を明らかにしたケアの実践
- 予防的ケアの実践

【Q&A】

Q: 今回のような事例で表皮剥離は減ったか？

A: 減っているが、皮膚が薄くなっているような方はやはり対象にならない。皮下出欠が多い患者には効果があったが、現在でもテスト中でシートを改善している。

Q: 二人で移動する場合、バスタオルを使うようだが、かえってあたったりシワになったりしないか？

A: トランスの時はよいが、横になっているときにしわになったりしている。今後の課題だと思う。